2027年度入試
受験生へのアドバイス

これは 2027年度入学試験に向けて、
傾向と対策をまとめたものです。
　受験勉強の参考にされてください。

関西大学第一中学校

国 語

国語の問題は説明的文章一題、文学的文章一題、漢字の問題一題の三つの問題からできています。文章は特別な知識がなくても読み解けるものを選んでいますので、教科書で読み習ったことをいかして、じっくりと考えてください。

選ぶ問題も書く問題も出題されます。解答を選ぶに当たっては、問題文のどこにその説明があるのかを確かめ、なんとなくではなく本文にそって決めてください。書いて答える問題では、読み解く力だけではなく書き表す力も試されます。何が求められているかを理解し、それに応える解答づくりを心がけましょう。文末が問い方に合った表現になっているか、答えに必要な内容がすべてそろっているか、誤字はないか、おかしな表現が含まれていないか、最後まで落ち着いて読み直してください。文字数の指定がある場合は、全体の 80 %程度は書かねばなりません。字数が少なすぎると、必要なことが書けていない可能性があるからです。

日頃から文章に親しむ習慣があると、安心して取り組むことができます。しかし、たくさんの作品を流し読みするのではその効果は低くなります。少ない作品でもじっくり読むと考える力につながります。考えるカなしに文章は読み解けません。説明的文章でも、文学的文章でも、書き手の言いたいことを正しく読み取るカこそ大切です。文章を通して書き手を理解しようとする取り組みを重ねていきましよう。

また、本校では基礎学力の一つとして漢字学習を重視しています。そのため漢字の問題を独立して出題しています。小学校 6 年生までに習う漢字のすべてが対象となりますので、略字やくせ字、続け字、小さすぎる字など、文字として成り立たないような字を書かず、大きな字で丁寧にはっきりと書いてください。

算 数

なるべく多くの分野から、かたよりなく出題することを考えています。いろいろな問題を解いて、苦手な分野をなくしておいてください。問題の難易度は、標準的なものを出題するようにしています。問題を素早く解くだけでなく、しっかり考えて解く練習もしておきましょう。

計算問題については、小数や分数を含んだ四則計算が正確にできるよう練習しておいてください。また、工夫することで簡単に計算できることにも注意しましょう。

文章問題については、問題文をしっかりと読みとってください。日頃から問題文が長めの問題にも挑戦し、内容を理解する練習をしておきましょう。

図形問題については、その図形がもっている性質をよく理解しておいてください。図の見た目から何となく判断してしまわないようにしましょう。

受験生の学力が入試の得点に比例する出題を心がけています。学力レベルが上がるよう頑張ってください。

社 会

地理・歴史・公民の3分野から出題しています。普段から身の回りの生活や自然を調べ、地域の様子・出来事に興味を持って観察してください。また、日頃から新聞やニュースをよく見る習慣をつけておいてください。

地理的分野では、地図や図表・統計を読み取る力をつけておいてください。統計は最新のものを見ておいてください。日本の地理に関しては、全国をもらさず学習しておきましょう。特定の地域にかたよって出題することはありません。国名や国の位置、都道府県名や都道府県の位置の確認など、地図帳や白地図を利用しての学習も必要となります。

歴史分野では、人物名や重要な出来事などを歴史の流れに沿って整理しておいてください。時代ごとの特徴を幅広く学習することはもちろん、歴史資料(史料)の学習も忘れずに行ってください。

公民分野では、国内の政治に関心を持って学習しておいてください。また、日頃から新聞やニュースをよく見て、社会の動きをよく理解しておきましょう。

全般にわたってですが、ただ単に暗記するのではなく、物事の原因やなぜそうなるのかという「考える力」を養っておいてください。また、基本的な用語は漢字で書けるようにしておいてください。試験時間は 50 分間です。時間配分に気をつけてください。

理 科

物理分野、化学分野、地学分野、生物分野に関して、毎年均等に出題されています。すべての分野を幅広く勉強しておきましよう。各分野とも、日常生活で起こる現象などにも興味を持って接しておきましよう。

図や写真を見て理解するべき内容も多いので、図や写真などもよく見ておきましよう。色々な問題に触れて、慣れておくことが大切です。文章がしっかり読めて、説明を理解できる能力も必要です。

記号選択の問題では、問題や選択肢の内容をよく読んで、問題に適した答えが選べるように練習しておいてください。試験時間は 50 分間です。この時間内で十分解けますので、落ち着いてうっかりミスのないように解答しましよう。

解答時の諸注意です。設問に分数で答えてよいという指示がない限り、小数で答えてください。単位まで答えなければならない問題については、単位がないと減点、もしくは不正解となることがあります。設問に漢字で答えなさいと指示がない限り、ひらがなで書いても不正解にはなりません。誤字、脱字は減点もしくは不正解となることがあります。これらの注意点に気をつけて解答してください。

以 上